

ふるさとを元気に !! 県議会県政報告書 長崎県議会議員 中島浩介

長崎県議会議員の中島浩介でございます。日頃より市民の皆様には大変お世話になっております。「ふるさとを元気に!!」南島原市を元気にするために、市の掲げる課題にこれからはしっかりと取り組んでまいります。

【平成30年度長崎県の主な事業】

① 「ながさきで家族になろうよ事業」

結婚を望む独身男女の結婚を
支援するため

「結婚サポートセンター」
を活用し、市・町団体等連携し
県内が一体となった結婚支援を
実施。



② 「チャレンジ園芸1000億推進事業」

平成37年度園芸産出額1000億円達成を目的として、
環境制御技術・省力化等、規模拡大を支援。

③ 「新水産業経営力強化事業」

経営計画を策定した漁業者へ
機器整備支援、生産基盤整備等
を支援。



④「元気高齢者の活躍促進事業」

高齢者の社会参加の啓発、人材育成、地域課題の解決に高齢者の力を活かす取り組みを実施。

⑤「次世代の介護人材養成促進事業」

小・中・高校生を対象とした介護の基礎講座や職場体験、介護職のやりがいや魅力を伝える伝道師の養成を実施

⑥「潜伏キリシタン関連遺産世界遺産登録推進事業」

登録後の情報発信や保存・活用にかかる対策等を実施。

⑦「肉用牛生産コスト縮減推進事業」

I C T機器の導入による分娩間隔の短縮や省力化モデル放牧場の整備等コスト縮減を支援。

⑧「農業支援体制総合推進事業」

外国人材の適正受入管理協議会の設置。
J A出資法人等に対し住居整備等を支援。

⑨「介護支援専門員法定研修システム構築事業」

介護支援専門員の法定研修の受講負担を軽減するため、研修の一部にeラーニングシステムを導入。

⑩「結婚、妊娠・出産、子育て応援プロジェクト推進」

若い世代が安心して子育てができるよう、企業・団体による応援宣言、ボランティア活動への参加等、行政・企業・団体及び県民が一体となった取り組みを実施。

平成29年長崎県議会6月定例会 一般質問

1. 海外輸出の取組みと実績、今後の取組みについて

【質問】

国内市場が縮小する中、経済成長の著しいアジア諸国への取組みは。取組み国への直行便の国際航路の開設を。

【中村知事答弁】

本県と交流の歴史を有する中国、韓国へ現地訪問し、政府人・企業関係者等へ県産品輸出、観光客誘致、県内企業の海外展開支援に取り組んでいる。シンガポールには水産物・農畜産物・県産酒・陶器等を売り込んでいる

県産品輸出額平成24年度5億200万円→平成28年度24億4,200万円
〔水産物〕 H28年度19億円(H32年度30億円目標)
〔農産物〕 H28年度輸出協議会会員実績1億4,300万円

「島原手延べそうめん」はパリ国際見本市への出店、百貨店・レストラン等でのフェアの開催。

【文化観光国際部政策監答弁】

新規国際空路路線の誘致は一定のインバウンドの需要が見込まれる国外の航空会社の誘致に取り組んでいる。今後も積極的に取り組む。

2. 国家戦略特区（外国人農業就業）について

【質問】

国家戦略区区域指定を受けてからの早急な受け入れ体制を。

【農林部長答弁】

県内における技能実習制度の管理団体との協議を行っており、県外の管理団体や海外の送出機関との連携を進めている。

3. 小浜・愛野バイパスについて

【質問】

国道57号の代替道路としての国の採択が厳しいようであれば、新たに県道を考えてはどうか。

【土木部長答弁】

地元の状況を把握するために、地元市の関係者の方々と十分意見交換してまいります。

4. 島原道路の深江から口之津までの延長について

【質問】

熊本県では、本土から天草空港までの高規格道路が進められている。熊本から口之津フェリーを通じて、口之津から深江までの高規格道路を整備し、熊本（九州各他県）からの観光客誘致、世界遺産登録後の巡礼者誘致に取組まなければ。

【土木部長答弁】

深江から口之津間は広域的な活性化が図れるものと期待している。まずは、島原道路を早期完成させることが重要である。

5. 通学路の歩道整備について

【質問】

通学路緊急合同点検危険個所の歩道整備状況は。

【土木部長】

県内40カ所の歩道整備が必要とされ、平成29年度に残り16カ所を早期完成に努めます。

6. 高齢者の交通安全対策について

【質問】

反射材の着用推進、安全横断『手のひら運動』の推進を！

7. 島原半島の夜間救急医療対策について

【福祉保険部長答弁】

三次救急患者を南島原市から大村の長崎医療センターまで救急車両で1時間強を要しており、道路整備並びに二次医療圏内救急医療体制の確保に努めてまいります。

8. 農業の6次産業化（付加価値をつけた加工の促進）について

【農林部長答弁】

平成28年度から農業者、食品事業者等で「フードクラスター協議会」を立ち上げ、新たな農産加工品の開発を推進しており、6件の農産加工品が商品化されています。今後も、専門家派遣による商品のブラッシュアップや商談会の開催等販路の拡大に努めてまいります。



平成30年長崎県議会9月定例会 一般質問

1. 島原道路の整備について

島原道路（愛野から諫早インター間）区間所要時間が
32分程度から16分程度に短縮!

【質問】

島原道路（愛野－諫早インター間）においては平成32年度半ばには完成の予定のようだが、島原から愛野区間において事業計画がなされていない有明町から瑞穂町区間（約10km）はどうなっているのか。

【土木部長答弁】

環境影響評価書の手続きが8月に終了したことから、今後は早期事業化に向けて、地元と一体となった要望活動等に積極的に取り組んでまいります。

2. 愛野小浜バイパスについて

【質問】

南島原市・雲仙市自治会連合会から知事に愛野小浜バイパス建設の署名（3万5千人）が提出され市民の機運も高まっているなか、どのような取り組みをなされておるのか。

【土木部長答弁】

今年度新たに雲仙市において、独自ルートや事業費等の検討に着手されており、結果を踏まえた議論を国や関係市と行ってまいりたい。

【中村知事答弁】

島原半島南部を含めた広域的な道路ネットワークの必要性、重要性については、私も十分認識しているところであります。

3. 世界遺産登録後の取り組みについて

【質問】

巡礼者の多い韓国、フィリピンに対する取り組みは。

【文化観光国際部政策監答弁】

神父や巡礼ツアー取り扱い旅行会社等の招聘、通訳案内士（韓国語 通訳 20名、英語 100名）が現地ガイドの物語を的確に伝えられるよう現地研修等に取り組んでいる。

4. 外国人介護人の確保について

【福祉保険部長答弁】

県内に介護職種受け入れ許可団体が3つあり、ベトナム送出し機関と契約している1団体が8月に認定されましたので、受け入れ手続きを進めている。

5. 河川堆積土砂、草木等の除去について

【質問】

毎年200件前後の県内の要望に対し、対応が100件を切っており、対応割合は50%に届かない状況。予算も前年度8%減になっている。

【土木部長答弁】

河川改修事業の仮設等も含めて対応したい。国に河川維持修繕に関し起債事業の拡大、交付金等の要望を行っていききたい。

6. 男性高齢者の通いの場への参加促進について

【福祉保険部長答弁】

今後、男性が参加しやすいカリキュラムを組み込んだ養成研修において、多くの男性リーダーを養成し、その方々が地域で実践することにより、男性高齢者が通いの場に参加しやすい環境を整備してまいります。

7. 農業経営収入保険制度の加入促進について

【質問】

青色申告の実績が基準収入となっているが。

【農林部長答弁】

本制度の窓口であります農業共済団体では、組合員等を対象に意識調査を行い、加入意向のある農業者に対して個別に加入促進が行われています。青色申告の推進についても、関係機関と一緒に進めてまいりたいと考えています。



国への要望

